

だんだん

放送大学島根学習センター 139号



2023年4月発行

〒690-0061

松江市白潟本町 43 スティックビル 4 階

☎0852-28-5500 fax0852-28-1800

✉ shimane-sc@ouj.ac.jp



◆ 所長新任・退任 挨拶	2
◆ 客員教員退任 挨拶	3
◆ 客員教員新任 挨拶	4
◆ 客員教員紹介	5
◆ 行事の報告	6-10
◆ 行事の案内	10-16
◆ お知らせ	16-19
◆ 同窓会通信	19
◆ スケジュール	20



所長新任のあいさつ

人間はどんなところでも学ぶことができる、知りたいという心さえあれば

出 口 顕



4月から、放送大学特任教授として、島根学習センター所長に就任しました。

昨年3月まで島根大学法文学部で教育と研究に携わるとともに、一昨年3月まではグローバル化推進担当副学長として、島根大学の国際交流にも取り組んでいました。専門は文化人類学で、外国から異人種の子どもの養子に迎える国際養子縁組の調査を北欧でしてきました。また文化人類学の思想について、とくに構造主義と呼ばれる理論も研究しています。

さて私の好きなアカデミックミステリーのコミック『マスター・キートン』のなかで、探偵で考古学者の主人公は、「人間はどんな環境におかれても、学ぶ喜びは得られるんだ」「人間は一生、学び続けるべきです。人間には好奇心、知る喜びがある。」と話します。これは彼の恩師だった教授の「人間はどんな時どんな所でも学ぶことができる、知りたいという心さえあれば」という思いを受け継いだものです。そして放送大学は、まさに、どんな時でもどんな場所にいても一生学びたいと思う人たちをサポートするための教育機関です。

コロナ禍でなじみのあるものになったリモートワークやオンライン授業・会議ですが、放送大学は、リモート学習の環境整備にいち早く取り組んできた実績があります。また島根学習センターでは、面接授業や公開講座、教員による面接指導も計画し、対面での学習にも力を入れてきました。どこにいても日本や世界の最先端の学問の動向が学べるように配慮しています。

なぜ人間は一生学び続けるのか、それが人間の使命だからとマスター・キートンはいいますが、しかし一生続けることができるのは、学問をすることが何よりも楽しく面白いからです。放送大学島根学習センターで、より多くの人にこの知的快楽を味わっていただければと思います。

所長退任のあいさつ



田 坂 郁 夫

平成から令和へ時代が移ろうとしていた2019年4月に放送大学島根学習センター所長に就任して4年、この度その職を退くにあたり一言ご挨拶申し上げます。

所長に就任するまで放送大学とは2011年度に面接授業を担当しただけの関係でした。放送大学がテレビ・ラジオを利用した通信制大学であることは承知していましたが、入学から卒業・学位取得までの流れや各科目の登録・受講・試験の方法などは知りませんでした。このため就任当初は月々の行事の把握を通じて放送大学の学びの特徴を把握するのに努めました。

そのような中、文字通りの生涯学習として学び続ける学生の多いことに関心を持ちました。以前の職場である島根大学をはじめ多くの大学では大学院進学という形で学び続けることはあっても、卒業後に他の学部・学科に再入学し学びを続けることはまずありません。しかし、放送大学では1つのコースを修了後、別コースに再入学し、5年、10年さらには20年以上学び続け、開設されているコース全てで学位を取得された方もいらっしゃいました。

人文科学から社会科学、自然科学までの各コースに関心を持ち、その多様な授業科目を履修することなど想像もできなかった私はそれらの方に敬意を伝えたいと思い、所長表彰制度を設けました。放送大学では全コース修了された学生を名誉学生として表彰していますが、本センターとして改めて顕彰したいと考えた次第です。この3月にも新しく3名の方が表彰を受けられ、そのお名前が掲額されましたことを大変嬉しく思っています。

最後になりましたが、島根学習センターで学ばれる皆さんが放送大学での学びを通してより充実した人生を歩まれることを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

客員教員退任のあいさつ



客員教員 石 井 徹

教養科目の教員として 5 年目の最後になりました。同僚の皆様、現スタッフの皆様、もとスタッフの皆様に厚く御礼申し上げます。本当にいろいろとありがとうございました。小さなことから大きなことまで、いろいろお世話になりました。例えば昨夏、隠岐へ行きました。行きの船が高速船で、少し揺れていましたが大丈夫でした。少し心配だったのです。帰りの船は大型だったのですが、少し揺れていたようで「さすが日本海！」と一人で毒づいていたのですが、こちらも見事にパス。七類港まで迎えに来ていただいていたお車の、行き届いたお世話にただただ感謝するのみでした。本当にありがとうございました。

また、何よりもいきなりで皆様を驚かせたのが私の事故でした。事務室並びに正・副センター長、皆様をビビらせたのではないのでしょうか。いきなり病床から電話が来て、本人は何の話をしたのか全く記憶がないのですが、それをうまくまとめていただいたのが、事務室の腕、さすがに頭が下がります。

普通の人々が普通に仕事をして普通に動いてゆく。そこに普通でないことが起こる。傍目には面白いのですが、当人たちは必死です。で、それができるのがいい事務室、しかも普通にできる。

どちら様も、本当にありがとうございました。お世話になりました。



客員教員 鶴 永 陽 子

まだ、着任してから 2 年しか経過しておりませんので、突然の退任に驚かれていますことでしょう。短い間ではありましたが、とても充実しておりました。客員教授をお引き受けした時点で、だんだんセミナーの内容については、皆さんが興味をお持ちのものにして（それが私にとって専門外でチャレンジングなものであったとしても）、参加される皆さんと「学ぶ楽しさ」を共感しようと決めました。そのため、毎回の準備のために、論文や著書を見て勉強しました。新しいことを沢山学ぶことができました。セミナーでは、私が話題提供して私なりの考えをお伝えしましたが、皆さんからも多くの意見をいただき、毎回刺激的でした。さらに、令和 4 年度は、Zoom を使って浜田会場の皆様とも一緒に勉強させていただきました。遠くにいながら、リアルタイムで学び合えたことも良い経験をさせていただいたと思っています。とはいえ、私の専門外の内容についても取り上げていたため、皆様にご満足いただけたかは不安なところです。また、何らかの形で、皆様にお会いできることを楽しみにしています。最後に、放送大学の職員の皆様にも、Zoom の設定や資料印刷等でお世話になりました。配付資料が期日間際の提出になってしまったり、予定変更などが多々あったにもかかわらず、笑顔でご対応いただきました。本当に、お世話になりました。深く感謝申し上げます。そして、皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。



客員教員 藤 井 浩 基

客員教員としての 4 年間、大変お世話になりました。

だんだんセミナーでは、毎回多くの方がご参加くださいました。最初の 3 年は「音楽は世につれ、世は音楽につれ」をテーマにしました。各月、音楽に関わる旬の話題や、ふだん気づかない音楽の意外な側面についてお話ししました。今年度は「1 年でサクッと学ぶ音楽史」と題し、音楽史の重要なポイントをかいつまんで取り上げました。リピーターの方も多く、みなさまの熱心な姿勢に生涯学習の真髄をみる思いでした。そして、スタッフの方々には常にあたたくサポートしていただきました。

音楽をテーマにする以上、話だけではなく、実際に音楽を体験することが重要だと当初から思っていました。コロナ禍前は、みなさまと一緒に歌う場面も設けていましたが、コロナ禍以降は難しくなりました。また、視聴覚資料の媒体や規格の多様化に追いつかず、鑑賞の際、しばしば不具合が生じたこともあり、それらが心残りでした。

セミナーの後は、いつも質問が絶えず、部屋の施錠時間が気になるくらい話が盛り上がりました。学生や参加者の方が貴重な資料や情報を提供してくださることもあり、私自身大変勉強になりました。

ありがとうございました。

客員教員新任のあいさつ



客員教員 大谷 みどり（おおたに みどり）

皆さん、こんにちは。今年度より島根学習センター・放送大学で客員教員としてお世話になります大谷と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私は高校卒業までは大阪で過ごし、大学卒業後は、京都、東京、アメリカの複数の都市での色々な仕事を経て、退職までの10数年は、島根大学・教育学部と教職大学院に勤務していました。

関心のある分野は、異文化コミュニケーションと、ここ数年は英語学習支援です。異文化コミュニケーションという分野では、文化的背景の異なる人同士が話をする際、言葉以外にも価値観や考え方、ジェスチャー等、コミュニケーションに影響を及ぼす様々な要因を考えながら、どのようにすれば、よりお互いの思いが伝わりやすくなるのか、というようなことを考えていきます。異なる文化圏に出かけた際、何に戸惑うのか、適応するとはどのようなことかなども含まれます。ゼミでは、基本的な「文化」とは何か、文化を構成する要素にどのようなものがあるか等も考えていきたいと思っています。

もう一つの分野、英語学習支援は、日本では比較的新しい分野ですが、私たちの母語である日本語と異なる英語を学ぶ際、個々人が持つ様々な特性や優位性が、どのように影響しているのか、どのようにすれば英語が、より分かりやすく、学びやすくなるか等を考えます。学校現場においても、児童生徒の特性等を考慮した、より分かりやすい支援方法の検討を重ねています。

この二つの分野は異なっているようで、実は大きな共通点があります。2領域とも、個々の背景を大切にしているという点です。異文化コミュニケーションでは文化的背景を、英語学習支援では個々の特性や優位性を考慮し、課題を分析しながら、一方はよりよいコミュニケーション方法を、もう一方はより分かりやすい英語の学習方法を探っていきます。皆さんと一緒に学べることを楽しみにしています。



客員教員 村瀬 俊樹（むらせ としき）

今年度から客員教員を務めることとなりました。私たちの心が成長とともにどのように形作られていくのかということに関心を持ち、実験・調査・観察によって客観的なデータを集め、人の心の形成過程の一般的な仕組みを明らかにする発達心理学を専門として研究を行っています。

これまで、母語の獲得を中心的なテーマとして研究を行ってきました。ことばは他の様々な機能と関連しながら獲得されます。聞く力、他者と共有する力、遊び方といったことがことばの獲得をどのようにささえているのかを検討しています。また、養育者のことばかけや絵本など子どもを取り巻く環境にはどのような特徴があり、それがことばやものの見方の発達とどのように関連しているのかを研究しています。

ことばの獲得に関する日米比較研究に参加する中で、日本という文化の中で心がどのように形成されるのかということにも関心を持つようになりました。日本社会の特徴として、他者の心を推測して自分の行動を調節する傾向が強いのではないかと思います。そのことに関連して、私たちが他者の心を推測する際のある種のクセ（バイアスと呼ばれます）はどのようなものなのか、推測した心は他者の実際の心を正しく反映したものなのかということの研究をしています。また、遠慮のように推測した他者の心に合わせて自分の欲求を抑制する心の仕組みはどのように成り立っているのかということも研究しています。

日常生活にあふれている心の働きのおもしろさに気づき、私たちが自分や他者を見るときクセを自覚して、自分も他者も尊重できるような関係を築くための一助となるプログラムを作っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

客員教員紹介

①現職等 ②専門分野（五十音順）

	荒川 正晴先生 ① 大阪大学 名誉教授 ② 東洋史学	客員教員として島根学習センターに勤務し、4年目になります。私の専門は歴史学で、トウルファンや敦煌と呼ばれるシルクロード上のオアシスから出土した古文書史料を用いて、主に中央アジアと中国の古代史を研究してきました。またシルクロードの交易や東西の文化交流の問題とも取り組んでいます。みなさんが高校で習われた世界史は、おそらく無味乾燥な各国史の寄せ集めだったかと思いますが、それを国家単位ではなくザックリとユーラシア大陸サイズあるいはグローバルレベルで眺めてみましょう。世界の見え方がまったく違ってくるはずです。これから、みなさんの学びのお手伝いができることを楽しみにしています。どうぞ本年度もよろしくお願いします。
	安齋 有紀先生 ① 島根大学 准教授 ② フランス語学	私たちが日常的に行なっている「対話」という言語活動に関心を持ち、フランス語と日本語を対照しながら、音声によるコミュニケーションに観察される様々な言語現象に着目した「話し言葉」の研究をしています。本務校の島根大学では、フランス語・文化関連の授業を中心に行なっていますが、言語文化圏によってなぜ「ことば」の使い方が異なるのか、複数の言語を対照することでそれぞれの言語の特徴がどのように見えてくるのかなど、「ことば」に関する素朴な疑問について学生とともに考えながら、対照言語学の面白さを伝えようと日々取り組んでいます。島根学習センターでは、フランスの文化や言語の魅力を楽しくお伝えしていきたいと思っています。
	大谷みどり先生 ① 島根大学 特任教授 ② 異文化コミュニケーション、英語学習における支援	皆さん、こんにちは。この4月より放送大学で客員教員としてお世話になります。私は色々な仕事を経て、いま大学という場で仕事をしています。関心は、異なった文化的背景を持つ人々の間で、どのようにすれば、よりよいコミュニケーションが出来るか、言葉以外に、何が相互理解の壁になりうるのかという「異文化コミュニケーション」と呼ばれる分野と、英語を学ぶ上で、各人が持つ特性がどのように影響するのか、特性をどのように活かせるのか、という点を、支援という側面から考えていく「英語学習支援」の分野です。この二つの領域について、実は個々人が持つ文化的背景や特性が、コミュニケーションや学習に、どのように影響を及ぼすかという点で共通項があります。このような領域に関心のある皆さんと一緒に学べることを楽しみにしています。
	尾崎 浩一先生 ① 島根大学 名誉教授 ② 生物学・分子生物学	客員教員として4年目を迎えました。研究の専門分野は主に動物の感覚、とりわけ光感覚（視覚）です。材料としてイカや昆虫の眼を用い、私たちが生涯ものを見続けることができるためのメカニズムを中心に研究を続けてきました。「だんだんセミナー」では、これらの専門分野だけでなく広く生物の不思議について、主に生理学や行動学、分子生物学的な立場から皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。環境、加齢、感染症など生物学や医学が関わる問題はますます重要になりつつあります。こうした問題に対処するためには、一人ひとりが生物学の正確な基礎知識や情報を取得し、それに基づいて自ら考えなければなりません。本セミナーが、その一助になれば幸いです。よろしくお願い致します。
	高須 晃先生 ① 島根大学 名誉教授 ② 地質学・岩石学	地球の表層を覆う地層や岩石には様々なものがありますが、これらの大部分は地球が誕生した 46 億年前から現在までにおこった地殻変動やマグマ活動の結果として形成されたものです。私はこれまで、かつての大陸と大陸の衝突（5000 万年前の大陸衝突によりヒマラヤ山脈が形成されました）や海洋プレートの沈み込み（これにより巨大地震が発生します）にともなう地球大変動の痕跡を残す岩石の研究を行ってきました。放送大学では、地球表層部を構成する地層、岩石と鉱物について、できるだけわかりやすく解説できればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。
	村瀬 俊樹先生 ① 島根大学 教授 ② 心理学	今年度から客員教員を務めます。本務は、島根大学人間科学部で心理学を担当しています。これまで、母語としての日本語を獲得する過程を中心に研究を行ってきました。0～1 歳代にかけて、どのような力が育つことが言葉の獲得をささえているのか、養育者のことばかけにはどのような特徴があり、それを子どもはどのように処理してことばを獲得するのかという研究を行っています。ことばの獲得に関する日米比較研究に参加する中で、日本文化の中で形作られる心にも関心を持つようになりました。「空気を読む」と言われるように、他者の心を推測して自分の行動を調節する傾向が日本社会の中でどのように形成されていくのかという研究にも取り組んでいます。

◆ 学位記授与式 ◆

令和4年度第2学期の学位記授与式・所長表彰を3月26日（日）スティックビル5階交流ホールにて、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで開催しました。

卒業生を代表して中村美友さんが感謝のことばを述べられ、厳粛な中にも華やかに式典が終了しました。

また、全コースを修了された学生には、島根学習センターの所長表彰を行いました。

その後、同じ会場で同窓会主催の卒業を祝う会が開催され、卒業生からの感想や同窓会員からのねぎらいの言葉など、なごやかな雰囲気での懇談が行われました。

卒業生紹介

卒業生氏名等の掲載を了解された方々を五十音順に紹介します。（敬称略）

遠藤 実果子【心理と教育コース】
小村 健二【人間と文化コース】
坂本 美紀【心理と教育コース】
妹尾 寿美子【生活と福祉コース】
出川 芳明【心理と教育コース】
堀内 千津鼓【心理と教育コース】
三原 貴子【心理と教育コース】
安本 貴子【生活と福祉コース】

小原 謙治【心理と教育コース】
北垣 幸久【人間と文化コース】
清水 忠史【自然と環境コース】
竹下 靖彦【心理と教育コース】
中村 美友【生活と福祉コース】
三島 俊行【心理と教育コース】
三町 侑也【人間と文化コース】
山根 幸裕【生活と福祉コース】

所長表彰者（敬称略）

山根 誠 出川 義明

竹下 靖彦





所 長 式 辞

島根学習センター所長 田 坂 郁 夫

木々の蕾もほころび始め、春の息吹が感じられるこの佳き日に、ご来賓の島根学習センター同窓会副会長 石川直樹様、客員教員の先生方のご列席のもと学位記授与式を執り行うことができますことは、卒業生はもとより、在校生、教職員にとりまして、大きな喜びでございます。心からお礼を申し上げます。

卒業生の皆様、本日は誠にありがとうございます。今学期、島根学習センターでは教養学部19名の皆様が卒業され、学士の学位を授与されました。皆様の学びをコース単位で拝見しますと、「生活と福祉」コース5名、「心理と教育」コース8名、「社会と産業」コース1名、「人間と文化」コース4名、「自然と環境」コース1名と多岐にわたっています。

また、今年度は、島根学習センター内で新たに3名の方々が6コースをすべて卒業されて名誉学生となりました。先ほど所長表彰もさせていただきましたが、高い志を持ちながら、精力的に学び続けられましたことは、後輩たちの良きお手本となるとともに、島根学習センターに取りまして大きな喜びであります。表彰された皆様のお名前を銘板に記し、これを島根学習センターの図書・視聴室に掲額いたします。名誉学生の総数は、今年度末で、全国で806名となり、島根学習センターでは8名となりました。名誉学生の皆様には、心より敬意を表します。

さて、令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症は、数ヶ月おきに流行を繰り返していましたが、重症化リスクの低下や感染者数の減少、諸外国の動きなどから、感染症法上の位置づけについて、2類から5類に引き下げられることとなりました。今後の感染対策等は、個人が主体的に選択していくようになると思われます。

また、世界に目を向けますと昨年2月から始まったウクライナへのロシアの侵攻は、いまだに解決する糸口さえ見いだせない状況です。

先の見通せない状況は自然界でも多発しています。地球温暖化や気候変動、さらに先月6日のトルコ南部で起きたマグニチュード7.8の地震とその後の地震により、トルコと隣国のシリアで、

これまでに合わせて5万6000人を超える死者が確認されています。

一方で日本に目を向けてみますと少子高齢化、高度情報化、グローバル化など私たちを取り巻く社会は急激に変化し、多様な価値観の中、課題も数多く存在しています。

このような状況の中で生活していくうえで、一人ひとりが大切にしなければならないことは、次の三つではないかと考えます。

一つ目は「思いやりの心と豊かな人間性」です。困難にぶつかった時、人と人とのネットワークで解決されることも多くあります。人への思いやりが他の人を助けるだけでなく、自らをも幸せにします。ネットワークも広がっていくことでしょう。

二つ目は「何事もあきらめず、最後まで粘り抜く心」です。次々と苦悩が生まれ、挫折や失敗もあるでしょう。その経験が自分を強くしてくれると信じて、粘り強く挑戦し続けることを心に刻みながら取り組むことが重要であると考えます。

三つ目は、「地域貢献をしていくこと」です。人は皆、家庭や会社、地域などから支援されています。たとえ小さなことでも一人ひとりが自分にできることをしっかりと社会に返していくことを意識していただきたいと思います。

これらのことを常に意識しながら、一人ひとりが自分自身で考え、意見を持ちながら一步一步進んでいくことが大切と考えます。

放送大学の魅力は、年代・世代を問わず、いつでもどこでも学ぶことができ、必要な知識、考える力を得られることです。また、いつでも学びなおしできることも魅力の一つです。そして、放送大学での学びを通して身につけられた確かな知識と多様な学力は、課題解決への道標（みちしるべ）となり、足元を照らす光にもなると思います。

本日、学位記を受けられた皆様が、自分自身の力を信じて大いに活躍し、豊かな人生を歩んでいただきたいと思います。

皆様の前途に幸多からんことを祈念いたしまして式辞といたします。

令和4年度所長表彰受賞者

山根 誠 様

出川 芳明 様

竹下 靖彦 様

(名誉学生授与順)

受賞者の名前を刻印したプレートは
図書視聴室に掲示をしています。



卒業生代表あいさつ

卒業生代表 教養学部教養学科

生活と福祉コース 中 村 美 友

雪が溶け、少しずつ暖かい日が続き、日の長さを感じられる季節となりました。

本日は私たち卒業生の為に「学位記授与式」を開催していただき、誠にありがとうございます。ご多忙の中、ご臨席賜りました皆様に卒業生を代表いたしまして心よりお礼申し上げます。

また、これまでご指導・ご鞭撻いただきました諸先生方はじめ、学習センターの皆様、多くの方々に支えていただき、深く感謝いたします。また、同じタイミングで卒業される皆様とお会いでき嬉しく思います。

4年半前の秋、まだとても暑さの残る季節に学位取得を目標にしてこの放送大学に入学しました。集団で講義を受けることが苦手で、自分のペースで自分の興味のある勉強ができるこの環境があることに私は当時救われました。

基本的には、人と関わるのが嫌いだった私でしたが、放送大学で学習とコンビニでのアルバイトをちょうど1年前まで両立してきました。

その中で、自分の居場所、自分らしく生きられる場所を作ることができれば、島根県はもっと豊かになるのではないかと思います、昨春島根県職員になりました。

仕事はとても大変で、中々勉強の時間を取れず、卒業が半年伸びてしまい、学び続けること

を諦めようかと思う日もありました。そんな中で、たくさんの人に支えていただき、本日無事に卒業を迎えることができました。

これからも、大変なことがたくさん待っていると思いますが、支えてくれた人たちに感謝する気持ちを忘れず、生きている限り、学び続けていきたいと思っています。

最後になりましたがご臨席の皆様、在学生の皆様方のご健勝と放送大学そして島根学習センターの益々のご発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



卒業生からの言葉

出欠に併せて、「卒業にあたっての感想」を記入していただいた方々を到着順で紹介します。

○三原 貴子さん

コロナ禍でスクーリングでの県外遠征が組めず、単位取得に時間がかかりましたが、「認定心理士」の申請に向け無事卒業が獲得できました。スクーリングでは他業種、多世代の方々と交流でき深い学びができたと思います。ありがとうございました。

○清水 忠史さん

ためになる事をたくさん知る事ができ、楽しんでいました。他にやりたい事ができたので、一度そちらに集中しますが、その後また放送大学へ戻り、学びを続けたいと考えています。

○出川 芳明さん

私の学生番号は062で始まります。長男が小学校1年で放送大学で学び初めました。令和4年度2学期で6回目の卒業となりました。大変ありがとうございました。

○妹尾 寿美子さん

当初は好きな科目を学べることと仕事のスキルのためからスタートしました。ある時本部から全科生の話を頂き、また新たな展開期がきました。そして在籍期間がせまって来たので、卒業を考えるようになり、苦手な外国語にも挑戦し、無事卒業することが出来ました。ありがとうございました。

○竹下 靖彦さん

一般入学より14年間が過ぎ、名誉学生の称号を授与されました。新カリキュラム改正で57単位を無効とされ283単位で卒業となりましたが選科生で引き続き大学にて学生生活を過ごします。

○安本 貴子さん

仕事と学業の両立は大変なときもありました。ですが、広い視野で自分や社会を見つめることができ有意義な時間でした。これから次の目標に向かってすすんでいきます！

○中村 美友さん

2018年10月に入学し、卒業に至るまでの間、たくさんの人と出会い、関わりを持っていく中で自分の次の目標を見つけることができたことは、これからの私の力になると思います。支えてくれた皆さん、ありがとうございました。

○小村 健二さん

5年間で卒業できてホットしています。卒業論文を書き上げ、久々の充実感・達成感を味わうことができました。これからも新たな感動を求めて学びを続けたいと思います。

○三島 俊行さん

教職員の皆様のご支援に感謝申し上げます。将来の夢を三つ。①『源氏物語』の通読と書写。②ドイツ語検定受験。③生涯、放送大学生。

○北垣 幸久さん

放送大学に学んで13年になります。その間入学と卒業を繰り返しこの度、5度目の学位記の授与を受けることができました。島根学習センターの皆様をはじめ、多くの方々と出会い、家族の支え、すべてに感謝し長く「学び」続けられることを願っています。

○堀内 千津鼓さん

コロナ禍の学生生活で、楽しみの面接授業もあまり受けにいけませんでした。友人と共に相談しながら教科履修ができたことがよい思い出になりました。

2回目の卒業です。4月からは3コース目の入学です。学びの楽しさをしみじみと感じています。いろいろお世話になりありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

○山根 幸裕さん

2回目の卒業です。4月からは3コース目の入学です。学びの楽しさをしみじみと感じています。いろいろお世話になりありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

◆ 入学者の集い ◆

3月26日(日)、令和5年度第1学期の「入学者の集い」と「入学者ガイダンス(学友会との共催)」を行い、新入生12名の出席がありました。入学者ガイダンスは、オリエンテーション(学習の進め方等の説明)の後、先輩からのアドバイスや体験談などを聞き、新入生もリラックスして、熱心に質問される姿もありました。

新入生の皆様には、今後の大学生活が有意義なものになりますよう、職員一同支援致します。



◆ 公開講演会 ◆

12月に益田市で公開講演会を開催しました。

「学校の音楽の授業は、今」

島根学習センター客員教授・島根大学教授 藤井 浩基 氏

- ・日 時 12月17日(土) 13:30~15:00
- ・会 場 益田市立市民学習センター
- ・参加者 17名



行 事 の 案 内

2023年10月入学に向けた「入学説明会・相談会」

2023年4月入学の出願受付期間は6/10~9/12の予定です。

入学説明会・相談会のうち、7月までの予定は次のとおりです。

- | | | |
|-------|--------------------|---------------------------|
| ○松江会場 | 6月25日(日) 10時~、14時~ | 島根学習センター |
| ○出雲会場 | 7月9日(日) 13時~ | 出雲中央図書館 |
| ○益田会場 | 7月29日(土) 14時~ | 益田市立図書館 |
| ○浜田会場 | 7月30日(日) 10時~ | 県西部社会教育研修センター
(いわみ~る内) |

公開講演会、卒業研究・大学院修士全科生希望者ガイダンス

卒業研究は、全科履修生を対象とした選択科目(6単位)です。教員と直接ふれあうことの少ない放送大学において、卒業研究は指導教員から直接指導を受けることのできるまたとない機会です。あなたも、卒業研究で主体的に学習する喜びを実感してみませんか。今回は、放送大学本部の岩崎教授に卒業研究の進め方を紹介いただきます。

併せて、本部教員から放送大学大学院修士課程の紹介、専門分野の公開講演会も開催します。

開催日 6月24日(金)

場 所 島根学習センター第1講義室(スティックビル3階)

オンライン配信会場 いわみ~る3階302研修室

講 師 岩崎 久美子 放送大学教授(人間発達科学プログラム/心理と教育)

公開講演会 ※詳細は同封のちらしをご覧ください。

・時 間 13:30~15:00

・テーマ 学びにより人とつながる: ウェルビーイングの実現と地域における社会関係資本

ガイダンス

・時 間 15:05~16:45

・内 容 卒業研究の概要 修士課程の概要

島根大学及び島根県立大学との双方向「単位互換制度」について

大学間で単位互換協定を締結し、他の大学等で修得した単位を所属する大学で修得した単位として認定する制度を単位互換制度といいます。

島根学習センターでは、島根大学、島根県立大学と双方向「単位互換協定」を締結しています。

1. 出願資格

単位互換校の授業科目を履修できるのは、次の3つの要件をすべて満たしている方です。

- (1) 出願時及び履修時に全科履修生である者（選科履修生及び科目履修生は出願できません。）
- (2) 出願時に本学の在学年数が通算1年以上の者
- (3) 出願時に放送授業科目において30単位以上を修得している者
- (4) 単位互換校へ通学可能である者

2. 履修できる授業科目

	島根大学	島根県立大学
受講可能科目	原則として医学部を除く島根大学の全ての授業科目が受講可能です。	島根県立大学から毎学期受講可能な学部・科目が提示されます。
受講料	1単位当たり 5,500円 (1科目2単位:11,000円)	1単位当たり 14,800円 (1科目2単位:29,600円)
単位互換校の所在地	【松江キャンパス】 松江市西川津町1060番地 法文学部 教育学部 人間科学部 総合理工学部 生物資源科学部	【浜田キャンパス】 浜田市野原町2433-2 国際関係学部 地域政策学部 【出雲キャンパス】 出雲市西林木町151 【松江キャンパス】 松江市浜乃木7-24-2 人間科学部 短期大学部

3. 出願から単位取得までのスケジュール

事 項	日 程		備 考
	第1学期	第2学期	
出願相談 申請書類の提出	～2月中旬	～8月中旬	相談窓口・提出先：島根学習センター
特別聴講学生 受入決定の通知	3月中旬以降	9月中旬以降	単位互換校から本人に通知
講義の受講	4月～9月	10月～翌年3月	場所：単位互換校
単位認定試験の 受験	(履修科目の担当 教員の指示を受け てください)	(履修科目の担当 教員の指示を受け てください)	場所：単位互換校
成績通知	9月	翌年3月	単位互換校から本人に通知
単位の認定	10月中旬	翌年4月中旬	単位互換校で修得した単位を 本学の単位として認定

4. 説明会 令和5年度第2学期についての説明会を下記のとおり開催します。

必ず、開催日の5日前までに、島根学習センターへ申し込んでください。

開催地区	松 江	浜 田
日 時	令和5年7月9日(日) 17:15～18:00	令和5年7月12日(水) 11:00～12:00
場 所	島根学習センター第2講義室	いわみーる（島根県立西部社会教育研修センター）3階302研修室

・連絡先 島根学習センター 0852-28-5500

ゼミのお知らせ

島根学習センター客員教員によるゼミ(学習会)を5月より開催します。
みなさまの積極的な参加をお待ちしています。

【ゼミとは】

客員教員の先生方が、専門分野のテーマに沿って開講する、少人数・双方向型の学習会です。講義を聴講するだけでなく、教材をもとに質疑応答を交えながら学習を深めていきます。

学生同士、学生と先生方とのディスカッション等により、コミュニケーション能力（発表および議論の仕方やマナー）、理解力、考え方なども身につけることができます。卒業研究の履修を希望する学生にはお勧めです。

【対象者】島根学習センター所属の学生（学生の種類は問いません）

【会場】島根学習センター 講義室等

【定員】各ゼミ10名以内（原則、先着順）

【受講料】無料

【単位取得】なし

【内容・日程】【申込方法】同封のチラシをご覧ください。

【担当講師】

客員教員	テーマ
荒川 正晴 教授	中央アジアの社会と文化
安齋 有紀 准教授	新しく学ぶ外国語
大谷 みどり 教授	英語学習における工夫と支援
尾崎 浩一 教授	生物の不思議～分子から生態まで～
高須 晃 教授	島根の地質・岩石・鉱物
村瀬 俊樹 教授	実験・調査による体験を通して学ぶ心理学

◆学習相談・だんだんセミナー◆

学習を進めていく中で、理解できないことや、さらに理解を深めたいことなどはありませんか？
学習上の相談は、所長と6名の教員が応じ、それぞれの専門分野の教員に直接相談することができます。Web 会議システム（ZOOM）を利用すると、自宅から相談することもできます。
また、だんだんセミナーは、6名の教員を講師に開催しています。
どうぞお気軽にお申込みください！



荒川 正晴 客員教授 (専門分野：東洋史学)

学習相談 5/12 (金)、5/26 (金)、6/9 (金)、6/16 (金)

13:00~16:00※1人1時間まで

セミナー 「ユーラシアの異文化交流」

6/22 (木) 14:00~15:30

ユーラシア大陸は、その周辺に広がる海域世界を含めて、古来、様々な文化が交流してきました。「東西交流」とも呼ばれ、シルクロード史研究の主要な研究テーマとなってきました。本セミナーでは、歴史的にどのような文化が交流してきたのか、具体的に取り上げてゆきたいと思います。現在のユーラシアの文化が、そうした交流の産物であることを実感してもらえればと思います。

安齋 有紀 客員准教授 (専門分野：フランス語学)

学習相談 5/12 (金)、5/18 (木)、6/15 (木)、6/29 (木)

9:30~12:30 ※1人1時間まで

セミナー 「フランスの文化と言葉」

5/11 (木) 10:00~11:00

フランスは首都パリを中心に諸芸術、ファッション、食など、様々な分野で世界から注目される国の一つです。このような華やかな側面だけでなく、言論・社会運動の特徴や現在の移民社会が抱える課題なども含め、多民族・多文化が共生するこの国の独自性について、私の留学経験も交えながらお話しします。また、ヨーロッパという多民族・多文化社会でフランス語が一つの言語としてどのように形成されてきたのかなど、他のヨーロッパ言語との関わりに触れながら、フランス語の特徴についてもお話しします。

大谷 みどり 客員教授 (専門分野：異文化コミュニケーション・英語学習における支援)

学習相談 5/31 (水)、6/7 (水) 13:00~16:00 ※1人1時間まで

尾崎 浩一 客員教授 (専門分野：生物学・分子生理学)

学習相談 5/9 (火)、5/16 (火)、6/13 (火)、6/27 (火)

14:00~17:00 ※1人1時間まで

セミナー 「生物たちの生きる仕組み」

5/23 (火)、7/25 (火) 14:00~15:30

いろいろな生物のいろいろな「なぜ？」について、特に生物が持つ様々な機能に関して、そのメカニズムの観点から受講者と一緒に考え、知る楽しさを分かち合いたい。予備知識は特に必要ありません。

高須 晃 客員教授 (専門分野：地質学・岩石学)

学習相談 5/9 (火)、5/30 (火)、6/6 (火)、6/27 (火)

13:30~16:30 ※1人1時間まで

セミナー 「岩石と鉱物の世界―島根の地質・岩石・鉱物―」

6/13 (火) 14:00~15:30

このセミナーでは、島根地質百選(島根県内の100のジオサイト=地質・岩石・鉱物見学サイト)に選定されている島根県内の地質、岩石、鉱物について、できるだけ実際の標本やサンプルを解説します。また、私が国内外から採取してきた、めずらしい岩石や鉱物も紹介する予定です。

村瀬 俊樹 客員教授 (専門分野：心理学)

学習相談 5/17 (水)、5/31 (水)、6/7 (水)、6/28 (水)

9:30~12:30 ※1人1時間まで

セミナー 「他者を認識する際の心のクセ」

6/21 (水) 10:30~12:00

私たちは誰でも、自分や他者、世の中の出来事を客観的にとらえることは難しく、ある偏り(クセ)をもってとらえています。このことは認知バイアスと呼ばれています。本セミナーでは、私たちが他者を認識する際にどのような認知バイアスが見られるのかを、実験・調査の結果を紹介しながらお話しし、受講生の皆様に日常生活における他者とのかかわりを振り返る一助としていただこうと思います。

問い合わせ学習相談・だんだんセミナー

TEL: 0852 (28) 5500 メール: shimane-sc@ouj.ac.jp

(注1) 窓口・電話・メールでの事前予約をお願いします。

(注2) だんだんセミナーは、一般の方も参加できます。

(注3) 松江市に暴風警報や特別警報等が発令された場合は、中止します。

(注4) 白湯駐車場をご利用の方は、一律200円券をお渡しします。

(注5) 必ずマスクの着用をお願いします。

◆Web 単位認定試験・体験会◆

参照 「学生生活の栞」 教養学部 P.61~74 大学院 P.63~76

Web 単位認定試験

2023年度の単位認定試験は、Web受験方式により実施します(郵送受験方式の科目を除く)。

自宅等からインターネットを通じて、Web単位認定試験システムにアクセスして受験します。試験期間中いつでも受験可能ですが、1科目50分の制限時間があり、各科目1回のみ受験可能です。

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験前までに必ず体験版の操作を行ってください。

Web 単位 認定 試験 体験 会

島根学習センターでは、操作体験会を下記の予定で実施します。

対象者：島根学習センターでの受験を申請された方
島根学習センター所属の方

- ・ **松江会場** 6月1日（木）、13日（火）、29日（木） 7月8日（土）
各2回 10時～12時 14時～16時
【場所】島根学習センター 第2講義室（4F）
- ・ **浜田会場** 6月25日（日） 11時～13時 14時～16時
【場所】いわみーる 302号室（3F）

申込期間 5/9（火）～希望日の3日前（閉所日除く）
定 員 各回4名

申込方法 島根学習センター窓口または電話でお申込みください。

TEL：0852（28）5500

※申込みの際に、学生番号を確認しますので学生証等をご用意ください。

※当日はマスクの着用をお願いします。

要予約

◆ システム WAKABA ◆

参照 「利用の手引き」 P.12

「学生生活の栞」 教養学部 P.22-24、P.109-111 大学院 P.31-33、P.103-105

放送大学では学修をサポートするため、インターネットを利用した各種システムを提供しています。このうち学生の皆さんがよく使われるのが「システムWAKABA」です。この操作の仕方等について、センターでは毎月1回「インターネット利用教室」において、詳しく説明しています。同封のチラシをご覧ください、お気軽にご参加ください。

放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp>) からシステム WAKABA にログイン



PC 版:画面上部ヘッドメニュー
>在学生(WAKABA)



スマートフォン:画面右上メニュー
>在学生 WAKABA



放送大学 認証システム

ログインID およびパスワードを入力してください

ログインID:

パスワード:

ログイン クリア

初期パスワードから一度必ずシステムにログインできます!

ログインID・パスワード（入学許可書に記載を）を入力します。

※ログイン後、初期パスワードは必ず変更してください。その後も毎年変更してください。

システムWAKABAを
もっと活用していただくために！

◆ 学生のためのインターネット利用教室 ◆

1. 開催日時・場所

- ・5月31日（水） 15時～17時 センター第2講義室
- ・6月28日（水） //
- ・7月26日（水） //

2. 定員

5名

3. 講師

島根学習センター職員

4. 申込方法（予約制）

島根学習センター窓口またはお電話でお申込みください。

お知らせ

面接授業

参照 教養学部生のみ「学生生活の栞」 教養学部 P.16-39

面接授業は、学習センターなどで他の学生と一緒に講師から直接指導を受ける授業です。放送による授業では体験できない実験・実習の授業も開講しています。

全科履修生だけでなく、選科履修生・科目履修生も履修できます。

①面接授業の単位

面接授業科目は、1科目が1単位になります。

②面接授業の実施時間帯

1日目		2日目	
時限	時間	時限	時間
1時限	9:50～11:20	1時限	9:50～11:20
2時限	11:30～13:00	2時限	11:30～13:00
昼休憩 60分		昼休憩 60分	
3時限	14:00～15:30	3時限	14:00～15:30
4時限	15:40～17:10	4時限	15:40～17:10

（試験・レポート等 16:25～17:10）

③学生教育研究災害傷害保険への加入

授業概要に「学生教育研究災害傷害保険」加入の記述がある面接授業（第1学期は「島根の火山フィールド・スクール」及び「健康と運動の科学」）を受講する場合は、受講する前日までに学習センターで加入の手続きを行ってください。

詳細は、「学生生活の栞」教養学部 124-125 頁をご覧ください。（既に参加している方は、手続きの必要はありません。）

※島根学習センターの面接授業担当講師の情報を『面接授業担当講師紹介』として島根学習センターウェブサイトに掲載しています。センター窓口にも配架しておりますので、ご活用ください。

※面接授業の参考図書を読覧することができます。ご希望の方は、島根学習センター窓口までお問い合わせください。

- ・「保険法第4版」「逐条解説保険法」・・・面接授業（市民生活と保険法）参考図書
- ・「島根の大地みどころガイド」・・・面接授業（島根の火山フィールド・スクール）参考図書
- ・「実践に学ぶ経営学」・・・面接授業（経営学：企業の在り方と企業戦略）参考図書
- ・「市民のための世界史」・・・面接授業（近世・近代の世界歴史）参考図書

※面接授業ではパソコン活用のための授業も行いますので、ご紹介します。

面接授業「新・初歩からのパソコン」

- ・日時 6月3日（土）～4日（日）9:50～17:10（休憩あり）
- ・会場 放送大学島根学習センター
- ・内容 パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学ウェブサイト、キャンパスメール、受講科目の登録や成績確認ができるシステムWAKABAの利用など今後の活用範囲を広げていきます。
- ・講師 佐竹 易子（島根大学教育学部 特任講師）

④追加登録の申請

開設科目に空席があれば、追加登録をすることができます。追加登録の受付は、当該科目を開設する学習センター、サテライトスペースで行います。

授業料は受付時に納めていただきます。郵送を希望する場合は、事前に各学習センターに問い合わせてください。

（空席発表日）

2023年4月15日（土）12時

学習センター・サテライトスペースでの掲示、放送大学ウェブサイトでお知らせします。

（追加登録期間）*1

追加登録期間初日（4月20日（木））10時から科目ごとに定められた追加登録受付期限日*2まで

※原則として開講日の1週間前、一部例外あり*3

*1 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録はできません。

*2 各科目の追加登録受付期限日については空席発表時に放送大学ホームページに掲載します。追加登録の受付開始後は、システムWAKABAのリアルタイム空席表示で掲載されています。定員に達し次第、その科目の追加登録受付を締め切ります。

*3 授業準備の都合上、追加登録を受け付けない科目があります。

（追加登録申請方法）

1. 窓口申請

追加登録期間初日（4月20日（木））は、10時までに来所の方を対象に、抽選で登録順を決定します。

それ以降は先着順。（学生証を提示すれば、代理人での登録も可能です。）

【窓口受付時間】（火曜日～日曜日）9時30分～17時30分

【必要なもの】

① 面接授業科目登録申請書

申請書は面接授業時間割表（中国・四国ブロック版）の最終ページにあります。

追加登録期間中は学習センター窓口にも備え付けてあります。

（システムWAKABAより入手も可能）

② 学生証（コピー不可）

③ 授業料（1科目5,500円）

2. 郵送申請

郵送による申請を受け付けます。上記①の申請書、授業料、返信用の封筒（84 円切手貼付）が必要です。

郵送申請をご希望の際は、事務室までお問い合わせください。
（希望者多数の場合は、来所の方を優先します。）

- 各科目の追加登録期間中の空席数・追加登録受付期限日については、放送大学トップページ→「在学生（WAKABA）」をクリック→システム WAKABA へログイン→「面接授業（該当学期）のページ」→「お知らせ」の「空席状況のお知らせ」に掲載します。島根学習センター図書・視聴覚室掲示板（島根学習センター開設分のみ）で確認できます。（直接お電話でのお問い合わせも可能です。）

『学生生活の栞』・『利用の手引』（冊子）

『学生生活の栞』は本部より送付したA5版の冊子です。みなさんが放送大学で学ぶにあたってその方法、留意事項、諸手続き等について記してあります。勉学を順調に進めるために、最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。また、巻末に各種届（願）出の様式があります。

『利用の手引』は、島根学習センターが発行している冊子です。島根学習センターの利用方法、学習方法、諸手続きの方法等について掲載していますのでご一読ください。



通 信 指 導

参照 「学生生活の栞」 教養学部 P.62-65 大学院 P.64-67

通信指導は、放送及び印刷教材により行われる授業において、各学期の途中に1回一定の範囲で出題されます。期限までに答案を提出してなかったり、提出しても不合格の場合は、学期末の単位認定試験の受験が認められませんので注意してください。詳細については「学生生活の栞」を参照してください。

●送付時期 2月下旬～5月上旬

●提出期間

（Web 通信指導による提出の場合）

2023年5月9日（火）10:00～5月30日（火）17:00

（郵送による提出の場合）

2023年5月16日（火）～5月30日（火）必着



※提出については、一部の科目を除き郵送によるもののほか、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web 通信指導」が利用可能です。「Web 通信指導」で通信指導問題の提出（送信）を行った場合には、郵送による提出は不要です（提出されても無効となります）。

西部地域にお住まいの学生のみなさまへ（浜田・益田コーナー）

島根県西部地域に居住する学生も容易に放送教材の視聴、貸出が利用できるように浜田市と益田市に再視聴施設があります。お近くの方はご利用ください。なお、利用時間、利用内容については「利用の手引き」（18 頁、19 頁）をご覧ください。

浜田コーナー

島根県立西部社会教育研修センター内
（いわみーる3階）



益田コーナー

益田市立図書館内
（カウンターでお問い合わせください。）



★全ての科目を配架してはおりません。浜田・益田コーナーでの視聴を希望する場合は、履修している授業科目の放送教材が配架されているかを、各コーナーまでお問合せください。ない場合は配架を依頼するかパソコンで視聴してください。

★西部履修相談について（予告）・・・8月17日（木）（益田）、18日（金）（浜田）で行う予定です。詳しい日時は次号の『だんだん』でお知らせいたします。

島根同窓会通信 (41)

2023 年 4 月 1 日現在 会員数 72 名

第11回通常総会及び第16回市民公開講座開催のご案内

島根同窓会通常総会記念事業として開催しています市民公開講座は、コロナ禍のため3密を避ける対策として、2年間中止してきました。今回コロナも新規罹患者が減少してきたため、下記により通常総会と共に開催します。ご参加をお願いします。

記

1、第16回市民公開講座開催のご案内

日 時 2023年4月30日（日）13:30～15:00

会 場 放送大学島根学習センター「第1講義室」（3階）

演 題 「なぜ国は『マイナンバー保険証』を普及させたいのか？」

—保険証廃止でマイナンバーカード取得が実質義務化—

講 師 塩毛浩史さん（島根県保険医協会事務局長）

参加費 無料（どなたでも参加できますが事前にご連絡ください）

2、第11回通常総会開催のご案内

日 時 2023年4月30日（日）15:00～16:00

会 場 放送大学島根学習センター「第1講義室」（3階）

議 題 ①2022 年度事業報告、②2022 年度会計報告・監査報告、③2023 年度事業計画
④2023 年度予算、⑤任期満了に伴う役員改選

5月			
日	曜	行事	面接授業
1	月	閉所日	
2	火		
3	水	閉所日	
4	木	閉所日	
5	金	閉所日	
6	土	閉所日	
7	日	閉所日	
8	月	閉所日	
9	火	【相】 高須 【相】 尾崎	
10	水	図書視聴室閉室	
11	木	【セ】 安齋	
12	金	【相】 荒川 【相】 安齋	
13	土		●これまでの学校/ これからの学校
14	日		
15	月	閉所日	
16	火	【相】 尾崎 【ゼ】 高須	
17	水	【相】 村瀬 【ゼ】 大谷	
18	木	【相】 安齋	
19	金		
20	土		●韓国の文化に触 れてみよう！ ●精神医学基礎論
21	日		
22	月	閉所日	
23	火	【セ】 尾崎	
24	水	【ゼ】 村瀬	
25	木		
26	金	【相】 荒川	
27	土		●島根の火山 フィールド・ス クール
28	日		
29	月	閉所日	
30	火	【相】 高須	
31	水	【セ】 インターネット 【相】 大谷 【相】 村瀬	

6月			
日	曜	行事	面接授業
1	木		
2	金		
3	土		●新・初歩からの パソコン ●SDGsと自然 環境
4	日		
5	月	閉所日	
6	火	【相】 高須	
7	水	【相】 大谷 【相】 村瀬	
8	木	【ゼ】 安齋	
9	金	【相】 荒川	
10	土		●リモートセンシ ング入門
11	日		
12	月	閉所日	
13	火	【セ】 高須 【相】 尾崎	
14	水	図書視聴室閉室	
15	木	【相】 安齋	
16	金	【相】 荒川	
17	土		●健康と運動の科 学 ●経営学：企業の在 り方と企業戦略
18	日		
19	月	閉所日	
20	火	【ゼ】 尾崎	
21	水	【セ】 村瀬 【ゼ】 大谷	
22	木	【セ】 荒川	
23	金		
24	土		●会社法の基礎 理論
25	日		
26	月	閉所日	
27	火	【相】 尾崎 【相】 高須	
28	水	【セ】 インターネット 【相】 村瀬	
29	木	【相】 安齋	
30	金		

開所時間 9：30～17：30

4月からは以下のメンバーになります。どうぞよろしくお願いします。

所長 出口 顕 事務長 小仲 靖子

事務職員 渡辺 裕和（広報）長妻 佳伸（教務）土肥 美智子（教務）松本 智子（学生）船越 紗綾華（総務・会計）